三笠エポックミスト

MWM-2502

取扱説明書

三笠エポックミストをお買い上げいただきありがとうございます。
当製品を安全に正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

三笠産業株式会社
MIKASA CONSTRUCTION EQUIPMENT

701-02603

目　次

1　はじめに ---- 1
2　機械の用途、危険性の警告、構造及び動力伝達 ---- 1
　2.1　用途
　2.2　誤用途、誤使用の警告
　2.3　構造
　2.4　動力伝達
3　警告サイン ---- 2
4　安全のための注意事項 ---- 2
　4.1　一般的な注意事項
　4.2　設置前の注意事項
　4.3　設置の注意事項
　4.4　発電機
　4.5　運転の注意事項
　4.6　運搬の注意事項
　4.7　リフティングの注意事項
　4.8　保管の注意事項
　4.9　警告ラベルの貼付位置図
5　仕　様 ---- 9
　5.1　各部装置名称
6　基本操作 ---- 10
7　運転（始動・停止）---- 11
　7.1　始動
　7.2　停止
8　コントロールパネル操作要領 ---- 12
9　点検・整備・保管 ---- 14
　9.1　点検・整備
　9.2　シーズンオフに向けて
　9.3　水抜き方法
　9.4　故障かなと思ったら・・・

1. はじめに

● この取扱説明書は、三笠エッポクミストの正しい取扱方法、簡単な点検及び手入れについて記載してあります。本機の優れた性能を生かし、効果的な製品の取扱いができる様に、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

● お読みになったあとも必ずお手元に保管し、分からない事があった時には、取り出してお読みください。

● この三笠エッポクミストを取扱説明書に書かれている目的以外に使用しないでください。

● 補修部品、パーツリスト、サービスマニュアルおよび修理に関しては販売店、当社各営業所、もしくは三笠部品サービスセンターにお問合せください。
又、パーツリストに関しては三笠ホームページhttp://www.mikasas.comの三笠WEBパーツリストでも掲載しております。

この取扱説明書に記載されているイラストが、設計変更等により一部実機と異なる場合があります。

2. 機械の用途、危険性の警告、構造及び動力伝達

2.1【用途】
本機は、一定圧力に加圧された水を専用ノズルより空気中に噴霧し、水が蒸発するときに発生する気化熱を利用して周辺の温度を下げる装置です。
① 炎天下でのイベント会場、一般の土木・建築現場等の熱中症、熱射病対策。
② 一般家庭園芸散水用。
③ 空気乾燥時の加湿対策による静電気発生防止。
④ 製造工場等の粉塵対策。
⑤ 家畜などの畜舎の湿度対策や加湿。
等の用途に使用いたします。

2.2【誤用途、 誤使用の警告】
- 本機は、ミストを発生させる装置です。それ以外の用途に使用してはいけません。
- 本機に使用する水は、水道水以外を使用してはいけません。
水道水以外を使用すると、含まれる雑菌が空気中に飛散し健康を害する危険性が生じますと共に、砂等による本機内部の詰まりを生じ故障の原因になります。
- 本機使用後は、必ず水抜きを行ってください。
長期保管前後は、必ずタンク内を清掃してください。且つ、長期保管後はタンク内を消毒してからお使いください。

2.3【構造】
- 本機は、主に本体カバー、給水ホース取付口、ストレーナ、モーターポンプ、シースタンクコントロールパネル、吐出ホース取付口、エアー抜きバルブ及びドレンコックで構成されています。

2.4【動力伝達】
- 原動機には、単相100Vのモーターを使用し、ポンプ(モーターと一体型)を動かします。
水道水を給水ホース取付口に接続するとストレーナを通りシースタンクに送られます。
コントロールパネルにてモーターポンプを起動すると、吐出ホース取付口より一定圧力に加圧された水が出、セットした専用ノズルからミストを発生させます。

3. 警告サイン

●本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使い戴く限り、本機の性能を存分に発揮できるものです。しかし万一、以下に示した警告サインを守らない場合は、やけど・けが・火災など重大な損害が発生する恐れがあります。くれぐれも以下の諸注意を丁寧に読み、十分理解した上でご使用ください。

本取扱説明書に記載されている⚠マークおよび機械に貼付けてある安全ラベルは、 警告サインです。 安全上、 必ず厳守してください。
⚠の各警告サインは、それぞれ次の人体に対する危険があるとの意味を表します。

⚠危険　指示を守らないと、 死亡または重大な傷害事故が生じる危険が極めて高い場合

⚠警告　指示を守らないと、 死亡または重大な傷害事故が生じる危険があり得る場合

⚠注意　指示を守らないと、 怪我や傷害事故が生じる可能性がある場合

注意　（⚠マークなし）　指示を守らないと、 物的な損害が発生する可能性がある場合

4. 安全のための注意事項

4.1 一般的な注意事項

⚠警告

● こんな時は、 作業をしない。

○ 過労や病気などで体調が悪いとき。
○ 薬物を服用しているとき。
○ 飲酒をしたとき。

⚠注意

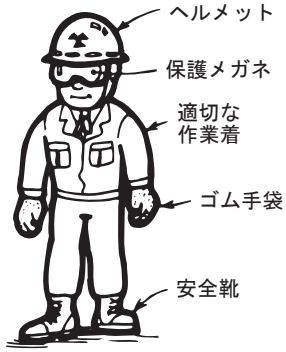
● 取扱説明書をよくお読みいただき正しい取扱で安全に作業をしてください。
○ 取扱い知識の不十分な人には使わせないでください。

● 発電機の取扱いは別紙、 発電機取扱説明書を参照してください。

● 本機の構造を充分理解した上でご使用ください。
○ 水道水以外の水を使用しないでください。

● きちんとした服装で作業してください。
○ 作業を安全に行うため防護具（ヘルメット、 保護めがね、 安全靴、 耳栓等）を必ず着用し、 適切な作業服で作業してください。
○ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。

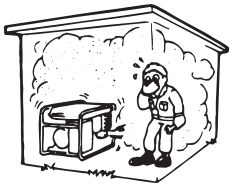
● 常に本機を点検し、 ネジ類のゆるみや破損や亀裂など、変形や異常が無く、 機械が正常であることをよく確認してから運転してください。



⚠注意	● 点検・整備する場合は、必ず電源プラグを抜き、水平な場所で行ってください。 〇キャブタイヤコードも点検し、磨耗、亀裂などにより導体部が露出していないか確認してください。またキャブタイヤコードは比較的、磨耗が激しいので早めに新しい物と交換してください。又、電源のコンセントや差し込みプラグの破損、変形、焼け、コードの取り出し部損傷の有無も確認してください。 ● 本機の貼付銘板（操作方法、警告銘板等）は安全を守るために非常に重要です。本機を清掃し、常に読みやすい状態を保ってください。読みにくくなった場合は、新しい銘板に交換してください。 ● 幼児等が触れると危険です。作業現場内に「立入禁止」の処置や設置方法（場所）に十分注意してください。 ● 製造元の許可無き改造や【誤用途、誤使用の警告】の使用における事故に関して、一切責任を負いません。	

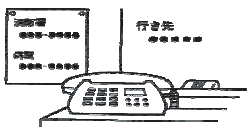
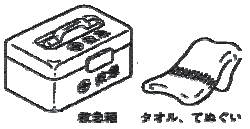
4.2 設置前の注意事項

⚠警告	●設置する場所に、電線管・水道管やガス管などの危険物がないことを、設置前に十分確かめてください。 〇危険物があると本機が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。 ●設置する場所は、いつもきれいに保ってください。 〇散らかった場所は、事故の原因になります。 〇設置を行うときは、不要な機械や鉄骨、シート、木片などの邪魔になるものは取り除き、整理整頓を励行してください。つまづいて転んだり、引っ掛かたりして事故の原因となります。 ●設置する周囲状況も考慮してください。 〇雨や雪の中や水しぶきのかかるような場所で使用しないでください。また、水たまり等に浸水させての操作や、延長コード等のプラグやコンセントが濡れた状態で使用しないでください。	
⚠注意	●騒音防止規制について 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。 ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。 状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。	
⚠危険	●ご使用まえに次のことを確認してください。下記項目については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。 〇コードを点検し、磨耗、亀裂等により導体部が露出していないか点検してください。露出していると感電やショート（短絡）による火災の原因になります。	

⚠危険	**●使用電源を確かめる・・・・・** 〇三笠エッポクミストは規定の電源（単相 100V）に発電機または商用電源を使用してください。 〇出力に余裕のある発電機を使用してください。 始動時に余裕のある電流がないと発電機の寿命が短くなるとともに、故障の原因になります。 **●漏電しゃ断器の確認・・・・・** 〇本機は電圧が100V の単相電源を使用します。 電源が発電機以外の場合、 漏電しますと大変危険ですので、 商用電源の場合は必ず漏電ブレーカーを使用してください。	
⚠警告	**●スイッチが切れていることを確かめる・・・・・** 〇スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。 電源側のスイッチは OFF である事を必ず確認してください。 **●プラグとコンセントの組付けを確認する・・・** 〇本機のプラグと延長コードや電源までの接続部が完全に組付けてあるか確認してください。 **●さし込みプラグおよび電源コンセントの確認・・・** 〇さし込みプラグを差し込んだとき、 ガタガタだったり、 すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。 そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。	
⚠注意	**●継ぎ（ 延長）コード・・・・・** 〇電源コードの延長はしないでください。 やむ終えず延長する場合は継ぎ（ 延長）コードが、 損傷のないものを使用してください。 〇電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、 本機を最高の能率で故障なくご使用いただくため、 電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。 〇延長のキャブタイヤコードは許容電流以上のものをご使用ください。 〇コードが長くなりますと、 それに比例して電圧が低下し、本機の起動および出力が低下いたします。 〇延長する場合は、 コードリールなどを使用してください。 尚、 延長は 50m 以内にしてください。	
⚠注意	**●発電機の設置場所** 〇設置場所は安定した雨や水のかからない所を選んでください。 発電機内部やコンセントなどに水が浸入すると、 漏電の原因になります。	
⚠警告	〇エンジンの排気ガスは、 人体に有害な一酸化炭素などの成分を含んでいます。 屋内・トンネル内など換気の悪い場所では、 エンジンを運転してはいけません。 また、 運転中は運転者はもちろん、 まわりの人や家畜などにも排気ガスに十分注意してください。	

⚠注意	**●周囲温度を確かめる・・・・・** 周囲温度 0℃～ 40℃の場所で使用してください。 ○温度が 40℃以上で使用すると本機の寿命が著しく短くなります。 **●出来るだけ高温の場所を避けてください。** 出来るだけ高温の場所を避けてお使いください。使用条件により寿命が短くなります。 寿命末期になると絶縁物が劣化しますので、漏電や感電もしくは火災の原因になる可能性があります。 **●凍結による不具合などは、ユーザーの責任となりますので、ご注意ください。**	

4.3 設置の注意事項

⚠危険	**●不安定な場所に設置しない。** 本体が転倒し、破損する恐れがありますので、不安定な場所に設置しないでください。必ず本機を水平に設置してください。 **●アースの結線なしで、本機を使用すると重大な事故が発生する可能性があります。** **アースの結線なしでは使用しないでください。アースは必ず第三種接地規定に従ってとってください。** **●転倒防止ために傾斜地や軟弱地盤での使用を避け、平坦な場所に設置してください。** **●発火に対する備え** 作業時には消火器をご用意していただき、発火した場合は消火器をお使いください。 万一、火災その他の障害により本機や電源コードから発火発煙したら、機械から離れ、まず、自分の身体の安全を確保してください。 **●本機に使用する水は、水道水以外を使用しないでください。水道水以外を使用すると含まれる雑菌が空中に飛散し、健康を害する危険性が生じますと共に微細な砂等による本機内部の詰まりを生じ故障の原因になります。** **●電子機器には濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。**	
⚠注意	**●万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。特に消防署への連絡の場合、救急車のために目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。** 単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷して動けなくなり帰れない場合の対処として有効です。 作業現場には、呼子（笛）を持っていってください。 万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。 出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、手ぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業場へ携帯することをおすすめします。	 

4.4 発電機

⚠注意	●出力に余裕のある発電機を使用してください。 ○始動時の電流に対して余裕が無いと、 発電機の寿命が短くなるとともに、 故障の原因になります。 ●発電機の取扱注意事項を守ってください。 詳細は、使用される発電機の取扱説明書を参照してください。	

4.5 運転の注意事項

⚠危険	●濡れた状態で操作しないでください。 ○操作する際に濡れた状態で行うと、 漏電等の故障になるばかりでなく、 感電する恐れがあります。 ●通電中は、プラグなどを抜き差ししないでください。 ○機器の破損や感電する恐れがあります。 ●作動中は、プラグ・端子部に触れないでください。 ○作動中は、電源プラグや端子部に触れないでください。感電の恐れがあります。	
⚠警告	●５分以上のカラ運転をしないでください。 ●カバーをはずして運転しないでください。ケガをする恐れがあります。	
⚠注意	●本機に直接噴霧(濡らさないで)しないでください。短絡および漏電を引き起こす恐れがあります。 ●使用後は必ずホース・タンク・ストレーナの水を抜いてください。 ●ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。 ●発電機使用時 ○発電機に他の電気器具を接続すると、 本機分の電気容量が確保できない恐れがあります。 ○発電機のオイルや燃料を確認してください。 ○電源スイッチを入れたままで、 発電機の始動や停止をしないでください。 ○電源スイッチが OFF になっていることを確認の上、 発電機を始動してください。 スイッチを ON にしてエンジンの始動や停止を行うと、発電機が故障する原因となります。 ●使用中に他の機器を接続しないでください。故障の原因になります。	

4.6 運搬の注意事項

⚠危険	●移動は、 しっかり固定してください。 ○運搬中に落下し、 破損する恐れがありますので荷台にしっかりと固定してください。 ○ロープなどで移動しないようにしっかり荷台に固定してください。	
⚠警告	●本機の積み降ろし時はタンクの水を抜いてください。	
⚠注意	●強い衝撃が加わると寿命が著しく低下したり、破損したりする恐れがあります。 移動 ・ 運搬や積み下ろしなどの際は、 十分注意してください。本機の積み降ろし時はタンクの水を抜いてください。	

4.7 リフティングの注意事項

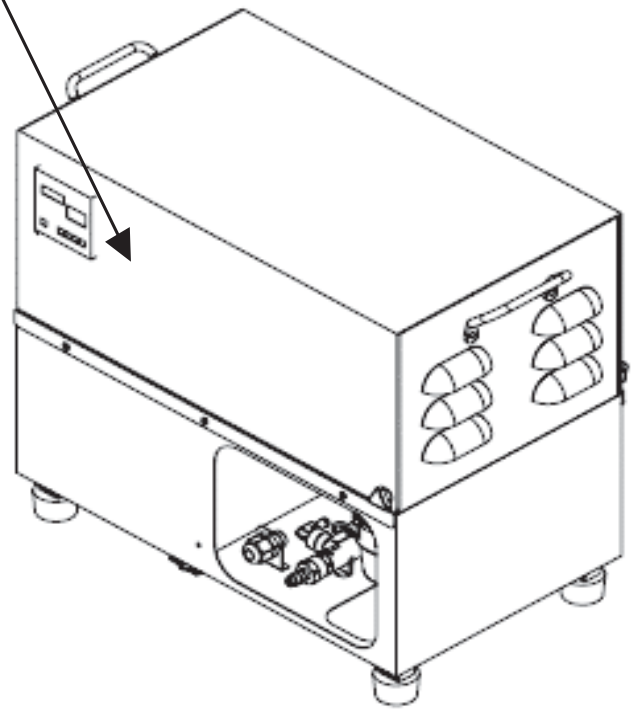
⚠危険	●リフティングは、 下記に注意してください。 ○クレーンを使用する場合は、 真っ直ぐ上に衝撃をかけないように吊り上げてください。 クレーンによる積み下ろし作業は資格が必要です。クレーンの運転や玉掛け作業資格の有る人が行なってください。 ○本機を吊り上げる際に、 ネジなど部品の脱落により本機が落下する恐れがあります。 強い衝撃が加わらないようにしてください。 ○接続部は、 取外した状態で行ってください。 破損の原因になります。	

4.8 保管の注意事項

⚠注意	●積み重ねないでください。 ○積み重ねは、 不安定なため落下しやすくなり危険です。 ●必ず保管前に泥や汚れなどを落とし、 点検 ・ 整備してください。（使用後タンク内に水を入れたまま放置すると雑菌が繁殖する恐れがあります。） ●本機使用後は必ず水抜きを行ってください。 ※長期保管前後は、必ずタンク内を清掃してください。 且つ、長期保管後はタンク内を消毒してからお使いください。 ●雨ざらしや高温多湿を避けて保管してください。	

4.9 警告表示ラベルの貼付位置

⚠危険	アース線の結線無しで本機を使用すると重大な事故が発生する恐れがあります。 保守・点検の際は必ず電源を「停止」にして，かつプラグを抜いてください。 電子機器を濡れた手でさわらないでください。感電する恐れがあります。
⚠警告	カバーをはずして運転しないでください。ケガをする恐れがあります。 本機の積み降ろし時はタンクの水を抜いてください。
⚠注意	取扱説明，書をよく読んで正しく作業してください。 本機に直接噴射しないでください。短絡および漏電を引き起こす恐れがあります。 使用後は，ホース、タンク、ストレーナの水を抜いてください。 ホースの損傷や，折れ曲がったホース，継手金具の悪いものは，新品と交換してください。



5. 仕様

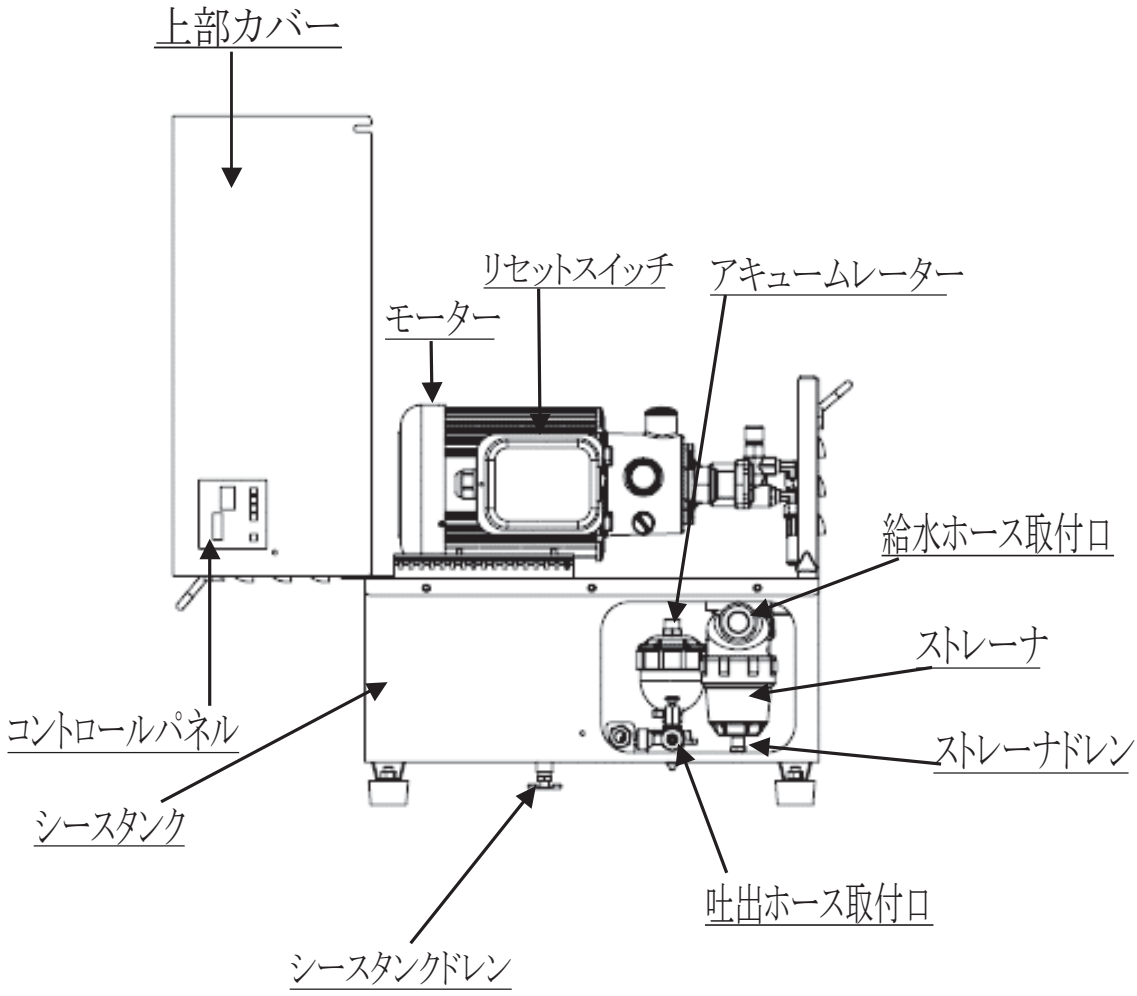
仕様

型式	電圧	消費電力	周波数	本体質量	回転数
MWM-2502	100 V	756/829 W	50/60 Hz	28 Kg	1425/1725 r/min

吐出圧力	寸法(L×W×H)単位㎜	最大吐出水量	シースタンク
6.5/7.0 MPa	545×305×450	2.5/3.0 L/min	7.0 L

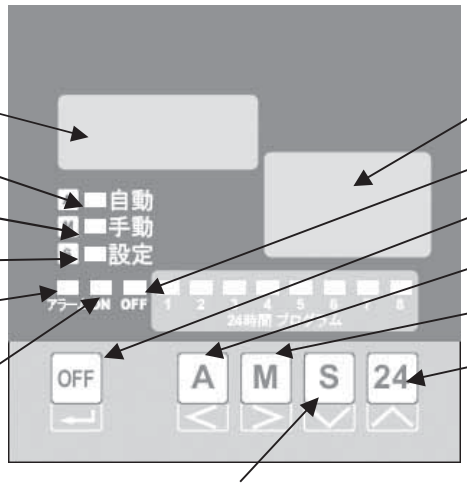
ノズル穴径（標準）	ノズル最大使用数量
0.15㎜（46cc）	54/65 個

5.1 各部装置名称



6. 基本操作

●コントロールパネルの操作方法



① 設定表示モニター
② 間欠運転ランプ
③ 連続運転ランプ
④ 間欠設定ランプ
⑤ 渇水警告ランプ
⑥ 運転ランプ
⑦ 残時間表示モニター
⑧ 停止ランプ
⑨ 停止スイッチ
⑩ 間欠運転、設定移動スイッチ
⑪ 連続運転、設定移動スイッチ
⑫ 表示≪上げる≫スイッチ
⑬ 設定、表示≪下げる≫スイッチ

設定…… ⑬「設定スイッチ」(S)を約5秒間押し続けてください。間欠運転の設定ができます。

間欠運転…… ⑩「間欠運転スイッチ」(A)を5秒間押し続けてください。間欠運転ができます。
初期設定は噴霧が40秒、停止が15秒になっています。

≪間欠運転の設定時間≫
噴霧時間・・・ 5秒～99分59秒まで
停止時間・・・15秒～99分59秒まで

※ ポンプの機能上再起動してから内部圧力が上昇するまでに約5秒間は、ミストが噴霧されません。その時間を考慮して噴霧時間の設定をしてください。
ご使用前に必ず取扱説明書を読んで正しい操作をしてください。

連続運転…… ⑪「連続運転スイッチ」(M)を5秒間押し続けてください。連続運転ができます。

停止スイッチ…… ⑨「停止スイッチ」(OFF)を押すと，運転・停止・設定の決定ができます。

※水抜き方法(使用後は必ず水抜きを行ってください)≪P17参照≫

7. 運転（始動・停止）

7.1 始動

● 水道水、又は低圧ポンプを使う場合
- 給水ホースの端を吸水口に取付けてください。
- 反対側を水道の蛇口、又は低圧ポンプに取付けてください。
- 各接続口はしっかりと取付けてください。
- 電源プラグの接続
  ○ 電源プラグを単相 100V のコンセントに接続してください。

※ 高圧ホースは、本機吐出口に確実に接続してください。

⚠注意	規定の電源（単相100V）以外は使用しないでください。火災、感電、故障の恐れがあります。

⚠注意	電源コードの延長はしないで下さい。やむ終えず延長する場合は必要容量（A）の十分満たされるものをご使用ください。

⚠注意	5分以上のカラ運転をしないでください。

⚠注意	凍結による不具合などは、ユーザーの責任となりますので、ご注意ください。

⚠危険	アースの結線なしで、本機を使用すると重大な事故が発生する可能性があります。 アースの結線なしでは使用しないでください。 アースは必ず第三種接地規定に従ってとってください。

- 本機への送水を開始して渇水警告ランプが消えてから《間欠スイッチ》《連続スイッチ》どちらかを約 5 秒間押し続けてください。
- しばらくするとノズルから噴霧がはじまります。

※ ポンプの運転が始まりますが、条件によってはノズルからの噴霧に数分かかる場合があります。

7.2 停止

- コントロールパネルの停止スイッチを押してください。
- 本機への送水を停止して下さい。ドレンコックを開け水道水の圧力を抜いてからホースを外してください。
- ドレンコックを閉めてください。

※ 作業を終了する場合はタンクの水を水抜き方法に従い排出し、各ホースを外して電源プラグを抜いてください。（P17 参照）

8. コントロールパネル操作要領

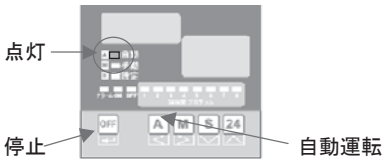
● まずはじめに電源プラグを AC100V に接続してください。操作パネル左上に「0:00」の表示が点灯します（右画像）。

●運転操作

＜自動間欠運転を行う場合＞

① 操作パネル A ＜ を約 5 秒間長押ししてください。
※初期設定は 40 秒噴射→15 秒停止→40 秒噴射の繰り返し設定です。

② 停止する場合は、パネル左の「OFF」↵ を押すと停止します。

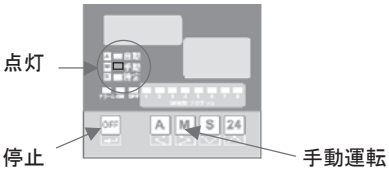


＜手動運転を行う場合＞

① 操作パネルＭ ＞ を約 5 秒間長押ししてください。
※ 連続運転を続けます。

② 停止する場合は、パネル左の「OFF」↵ を押すと停止します。

※ 間欠時間の設定を変更する場合は、下記の「設定の変更」を参照してください。



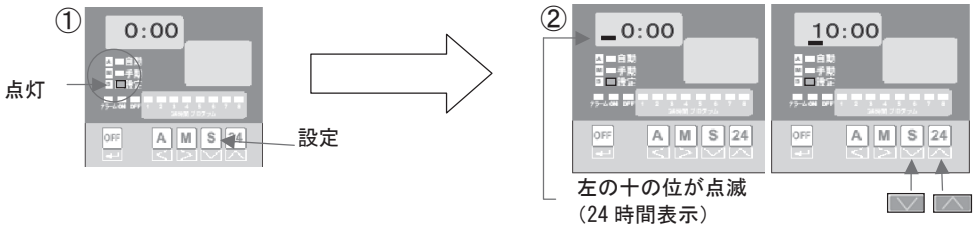
●設定の変更

＜時間の設定方法＞

・ 現在時刻の設定（設定の必要がない場合は「OFF」↵ を押してスキップしてください。

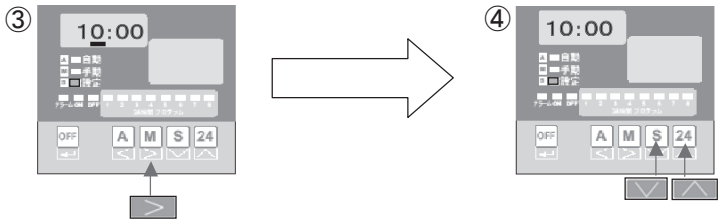
① 操作パネルのＳ ＜＞ を約 5 秒間長押しします。

② ＜＞ ＜＞ ボタンで設定します。



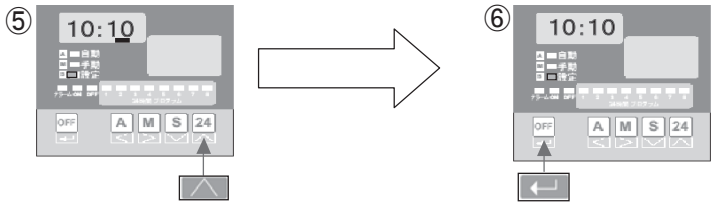
③ ＞ ボタンを押すと一の位が点滅します。
スキップする場合はもう一度押します。

④ ②の操作と同じように ＜＞ ＜＞ で設定します

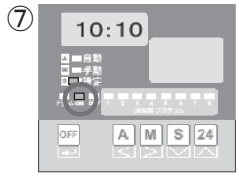


⑤ ＞ で分を設定します。

⑥ 設定が完了したら ↵ を押します。



⑦「ＯＮ」の部分が点滅し、次の自動運転の噴射時間の設定モードに変わります。



●自動間欠運転の設定

＜噴射時間設定＞

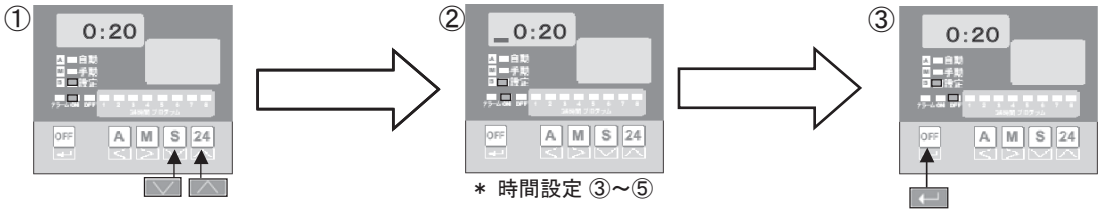
＊ 初期設定は噴射40秒、停止15秒の設定になっています。
＊ 設定を変更しない場合は、↵ OFFを押して次へ進みます。

① 十の位が点滅します。設定は ▽ △ で行います。

② 一の位が点滅します。以下、時間設定（③～⑤）と同じ要領で設定します。（P12参照）

＊設定最大時間　99:59
＊設定最低時間　0:05
＊これ以下の設定は出来ません。

③ 設定が完了したら ↵ を押します「OFF」の部分が点滅し、次の自動運転の停止時間の設定モードに変わります。



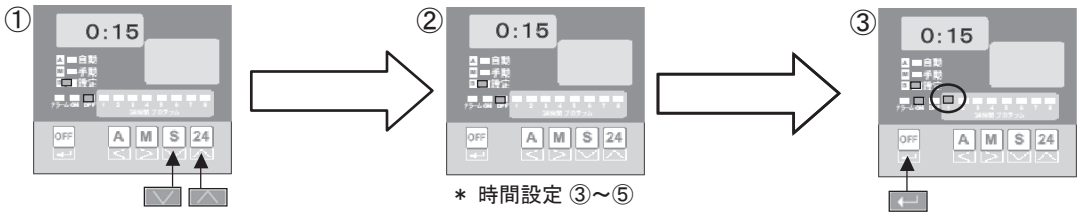
＜停止時間設定＞

① 十の位が点滅します。設定は ▽ △ で行います。

② 一の位が点滅します。以下、時間設定（③～⑤）と同じ要領で設定します。（P12参照）

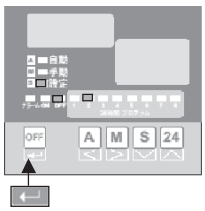
＊ 設定最大時間　99:59
＊ 設定最低時間　0:15
＊ これ以下の設定は出来ません。

③ 設定が完了したら ↵ を押しますプログラム1部分が点滅し、次の設定モードに変わります。



※ プログラムは1～8まであり、 ↵ を押すたびに各プログラムごとに「ON」「OFF」のランプが点灯します。最後はプログラム8のランプが消灯し、さらに設定ランプが消えて、すべての設定完了となります。

※



9 点検・整備・保管

9.1 点検・整備

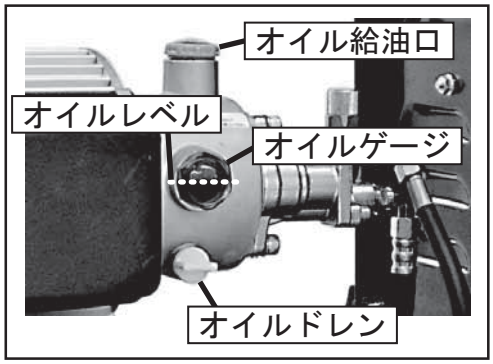
部 品 名	整 備 内 容	整 備 時 期
ポンプ	オイル交換	初回は50時間使用後、以降100時間ごと/1年に1度
	油量・汚れ確認	毎回使用前
ストレーナ及び フィルター	清掃	毎回使用後
ノズルフィルター	交換	約100時間ごと又は月1度

※ この表の時期にしたがって、整備・点検を行なってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は整備・点検の回数を増やしてください。

● ポンプのオイル交換

・ 最初は50時間使用後、その後は100時間使用後または1年に1回行なってください。

・ SE級以上のSAE10W－30エンジンオイルを65cc使用してください。



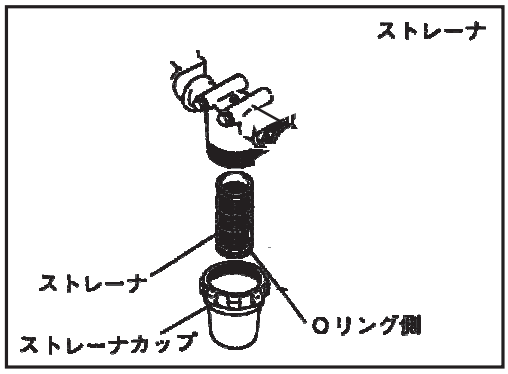
● ストレーナ

・ストレーナの汚れを点検し、ゴミや異物の詰まりの除去。

重　　要

冬期間、水が凍結する恐れのある地域では必ず水抜きを行なってください。

凍結による不具合などは、メーカーの責任外となりますので、ご注意ください。



9. 3 シーズンオフに向けて

● この三笠エッポクミストを長期ご使用しない場合には、必ずタンク内を清掃し水抜き方法に従いポンプより水抜きを行ってから保管してください。
（使用後タンク内に水を入れたまま放置すると雑菌が繁殖する恐れがあります。）

● タンク内消毒要領

1.タンク内の水抜きをする。（P17-①参照）

2.タンク内、ノズルの消毒。

・タンク内に消毒液（消毒液の作り方を参照）を入れ3分間ミスト装置を運転しノズルより噴霧してください。
・噴霧中の消毒液は吸込まない様にしてください。

3.ミスト装置を停止します。

4.すすぎ運転。

・再度タンクに水を入れミスト装置を運転しノズルより3分間噴霧してください。

5.水抜き方法に従って水抜きを行ってください。（P17①～⑦参照）

● 長期保管後（新品、未使用除く）は、タンク内を清掃してから消毒を行ってご使用ください。

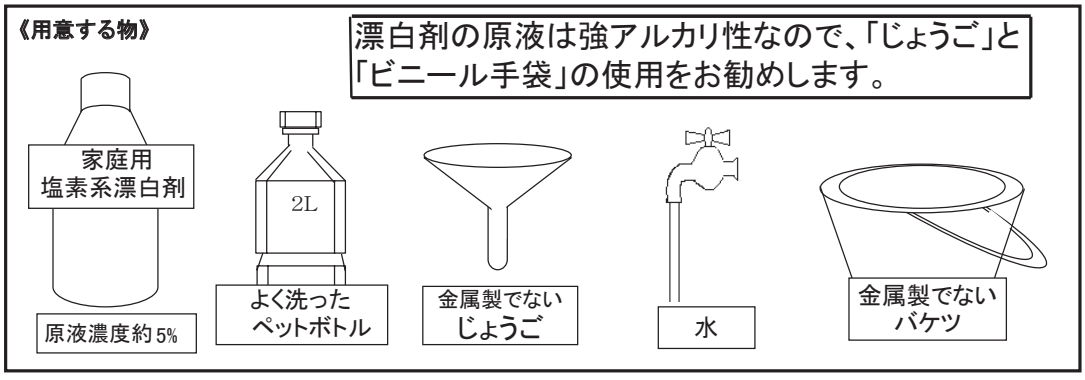
● 消毒液の種類

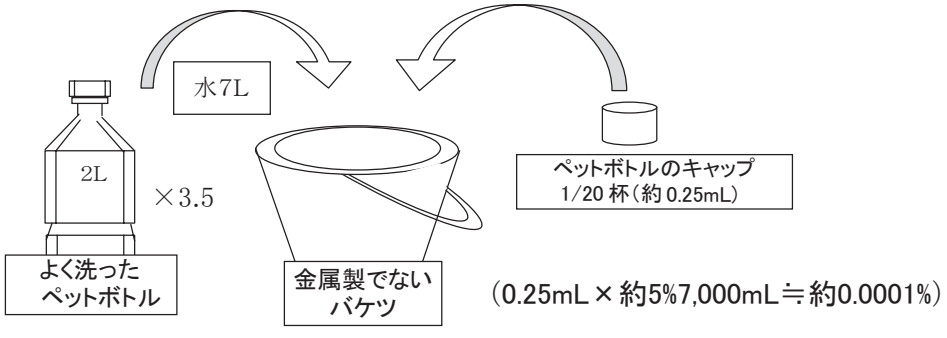
※ 次亜塩素酸ナトリウム⇒市販の「家庭用塩素系漂白剤」

塩素消毒（次亜塩素酸ナトリウム）を行う場合の希釈倍率

用　途	実行有効塩素	希釈倍率	希釈例
水（飲料水、プール、排水）	0.8ppm～1.0ppm	約140,000倍	1mL／140L水

● 消毒液の作り方

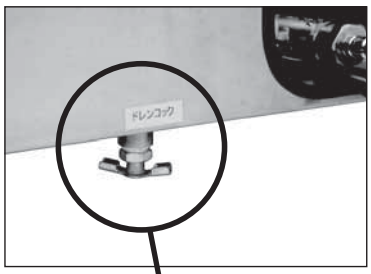




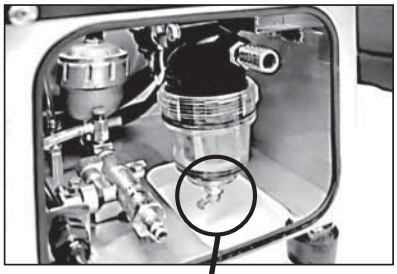
9.3 MWM-2502 型 ミスト装置の水抜き方法

● **はじめに本機への送水を停止して下さい。**
≪送水を停止しホースを外すと渇水ランプが点灯致します。≫

① シースタンクの水をシースタンクドレンとストレーナードレンをゆるめて抜いてください。

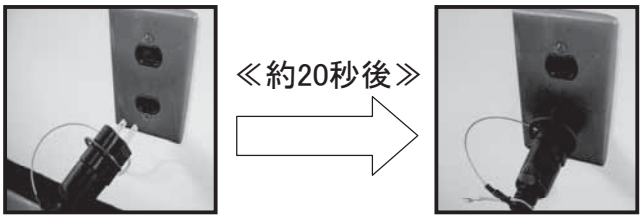


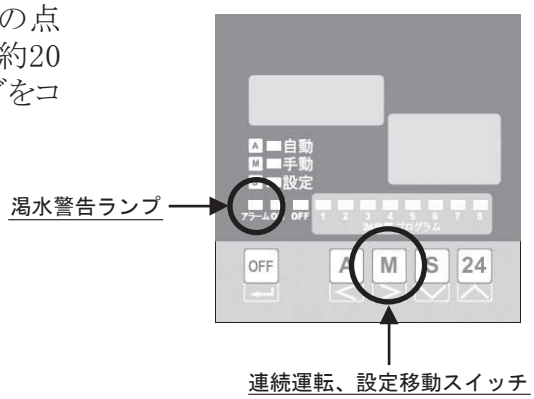
シースタンクドレン



ストレーナードレン

② 水抜きホースより水が出なくなって(「渇水警告ランプ」の点灯後)から、電源プラグをコンセントより抜いてください。約20秒間電源プラグを抜いたままにして、もう一度電源プラグをコンセントへ差し込みます。

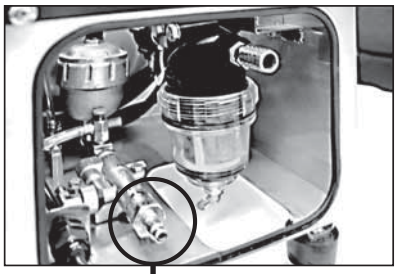




③ 再度、「渇水警告ランプ」が点灯します。

④ 「連続運転、設定移動スイッチ」を約5秒間押し続けます。

⑤ 吐出ホース取付口より約15秒間水が出た後自動的に停止します。 停止したのを確認してからエアー抜きボタンから手を離してください。
もし渇水警告ランプが点灯しても作動しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く時間が短い可能性があります。
②から再度やり直してください。



吐出ホース取付口

⑥ シースタンクドレンとストレーナードレンを閉じてください。

※ **吐出ホース取付口より水が出ますので濡れる恐れがあります。**

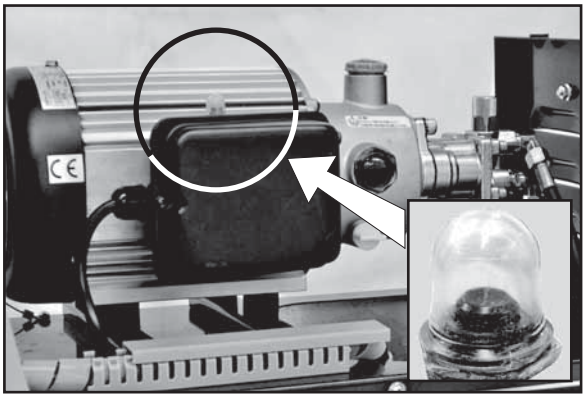
⑦ 水抜き完了です。

9.4 故障かなと思ったら・・・

症状	原因	対策
水を吸わない	水道水が供給されてない。	水道の元栓を開ける。
	ポンプ内のバルブ関係の固着 又はゴミ詰まり。	高圧ホースに水道ホースを直結し運転する。 バルブ関係の清掃又は交換★
	給水口ストレーナー(ろ過器)の目詰まり。	給水口を外しストレーナー(ろ過器)の清掃。
	ポンプ内Uパッキンの磨耗、損傷。	Uパッキンの交換★
ノズルから 噴射しない	ポンプ内のバルブ関係の固着 又はゴミ詰まり。	バルブ関係の清掃又はノズルフィルターの交換★
	ノズルの詰まり	ノズルの清掃またはノズルフィルターの交換
	ポンプ内Uパッキンの磨耗、損傷。	Uパッキンの交換★
	リリースバルブの固着又は磨耗。	リリースバルブの清掃または交換★
ノズルからの 噴射が 安定しない	プレッシャバルブの作動不良。	プレッシャバルブの清掃 またはOリングの交換★
	ポンプ内のバルブ関係の固着 又はゴミ詰まり。	バルブ関係の清掃又は交換★
	ノズルの詰まり	ノズルの清掃またはノズルフィルターの交換
	ポンプ内Uパッキンの磨耗、損傷。	Uパッキンの交換★
	リリースバルブの固着又は磨耗。	リリースバルブの清掃または交換★
起動時モーター 回らない	渇水ランプ(コントロールパネル内)が点滅。	水道の元栓を開ける。
	リセットスイッチが作動している。 (リセットスイッチのボタンが飛び出ている。)	リセットスイッチのボタンを押し込む。 (☆取扱説明書P18の※リセット方法参照)
	電源の不足。	電源の確認(単相100V)

★印　部品交換・修理の場合、お買い上げの販売店または裏面弊社サービスセンターへお問合せ下さい。

※　リセット方法



白いカバー内のボタンが飛び出ているとリセットが作動しています。指で軽く押してください。白いカバー内のボタンが左のように押し込まれたらモーターが作動します。

MIKASA SANGYO CO., LTD.

HEAD OFFICE
No.4-3, Sarugakucho 1-chome,
Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0064,
Japan

三笠産業株式会社

本　　社　〒101-0064　東京都千代田区猿楽町1丁目4番3号
電話 03-3292-1411　FAX 03-3233-0530
大 阪 支 店　〒577-0016　東大阪市長田西3丁目1−23
電話 06-6745-9631　FAX 06-6745-9660
札 幌 営 業 所　〒003−0030　札幌市白石区流通センター6丁目1番48号
電話 011-892-6920　FAX 011-892-6344
仙 台 営 業 所　〒984−0015　仙台市若林区卸町5丁目1番16号
電話 022-238-1521　FAX 022-238-0331
北関東営業所　〒374−0042　館林市近藤町178番地
電話 0276-74-6452　FAX 03-3233-0530
中 部 営 業 所　〒453−0014　名古屋市中村区則武1丁目9番4号
電話 052-451-7191　FAX 052-451-0315
中 国 営 業 所　〒731−0138　広島市安佐南区祇園3丁目45番11号
電話 082-875-8561　FAX 082-875-8560
九 州 営 業 所　〒812−0016　福岡市博多区博多駅南5丁目22番5号
電話 092-431-5523　FAX 092-431-5707

≪出張所≫

・新潟　・長野　・金沢　・四国　・南九州　・沖縄

≪部品サービスセンター≫

〒344−0053　春日部市緑町3丁目4番39号
部　品　課　電話 048-734-2401　FAX 048-736-6787
サ ー ビ ス 課　電話 048-734-2402　FAX 048-734-7678

・館林物流センター　・技術研究所　・館林工場　・春日部工場